

2016年1月12日

## Insurance Technology への取組みについて



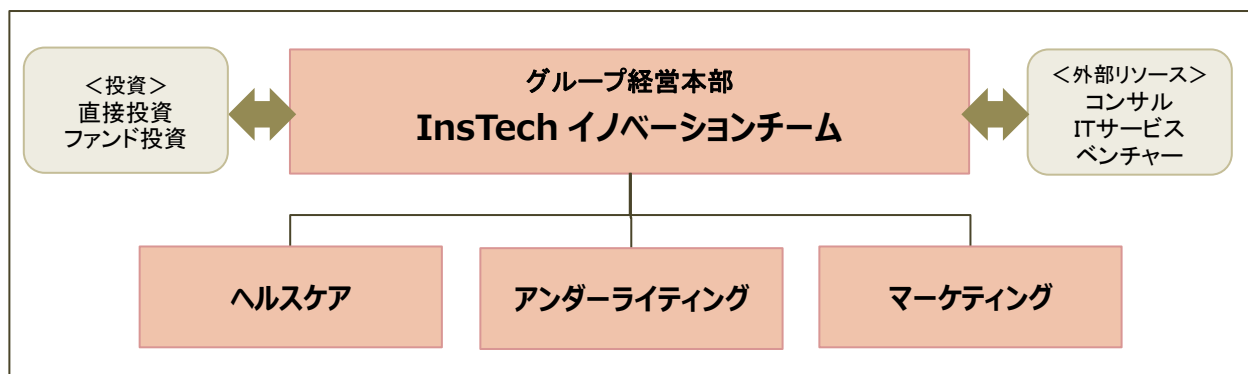
第一生命保険株式会社(社長:渡邊 光一郎)では、お客さまの一生涯に寄り添った「確かな安心」と「充実した健康サポート」のご提供を更に強化すべく、生命保険事業のイノベーション創出に向けた取組みを開始します。

保険ビジネス(Insurance)とテクノロジー(Technology)の両面から生命保険事業独自のイノベーションを創出する取組みを“InsTech”と銘打ち、最優先の戦略課題としてグループ全体で推進していきます。他業態と連携したエコシステムの実現等も視野に入れ、外部の開発力やアイデアを積極的に取り入れながら生命保険業界全体のイノベーションをリードしていくことを目指します。

### 1. InsTech 推進体制の構築

2015年12月より、グループ経営本部にて、InsTech 推進に向けた「InsTech イノベーションチーム」を組成しました。このチームは、営業部門・商品部門・システム部門・運用部門・海外部門・アンダーライティング部門など約15の部の管理職クラス約30名から構成されるクロスファンクショナルチームであり、グループのInsTechを推進していきます。

InsTech においては、ヘルスケア、アンダーライティング、マーケティングを検討領域とし、米国・アジアパシフィック地域のグループ各社と共に、ベンチャー企業、ベンチャーキャピタル、先端技術企業(ITベンダー等)などが持つ先端技術情報を幅広くタイムリーに収集・分析し、取り入れていきます。



内在するビッグデータや医療・ヘルスケア情報等の各種外部情報と、先端ICT技術を融合させることで、新たなビジネスモデルの構築を目指します。

ヘルスケア	<p>医療ビッグデータ解析により、2015年8月に、ネオファースト生命で非喫煙者割引を適用した医療保障商品を発売しました。</p> <p>今後は、ヘルスケア・医療ICT技術の導入や、医療ビッグデータ等の一層の活用により、更なるリスク細分化型の商品や、ご加入者の健康増進取組みの促進に繋がり「健康寿命の延伸」に貢献できる生命保険・サービスの提供を目指します。</p>
アンダーライティング	<p>ご契約手続きのデジタル化(2014年9月開始)によるお客さま利便性の向上や、保険金等支払業務へのIBM Watson Explorer導入による確実・迅速な支払体制を構築してきました。</p> <p>今後は、引受査定・契約管理のオペレーションについても、AI等の活用を視野に、事務手続きの迅速化とお客さまの利便性向上を目指します。</p> <p>また、医療ビッグデータ解析を通じ、ご加入時の診査・告知項目を簡素化する等、お客さまにより簡便に生命保険にご加入いただける体制の構築を目指します。</p>
マーケティング	<p>2015年4月より、内在するビッグデータ解析を元に、お客さまごとに最適な商品・サービスを、最適なタイミングで提供するための情報を機械的に創出し、営業職員に提供する取組みに着手しています。</p> <p>今後は、社内外の情報の更なる融合等により、これを進化させ、IoT・AI時代のマーケティング手法を模索していきます。</p>

また、従来より取り組んでいる成長分野への投資の一環として、InsTech 領域において卓越した技術・競争力を有し、中長期的に安定した成長が期待される国内外の企業に直接投資およびファンドを通じた投資を実施していきます。

## 2. InsTech 推進に向けたパートナー

InsTech の推進に向けては、他業態とのコラボレーションを追求していきます。

まずは、デジタル化プロジェクトの豊富なノウハウ・実績とグローバルネットワークを有するアクセンチュア社と本取組みの初期段階からパートナーシップを構築し、InsTech を推進していきます。

その他、株式会社IGPIビジネスアナリティクス&インテリジェンス社とのコラボレーションや、株式会社NTTデータが主催するオープンイノベーションフォーラム「豊洲の港から」、富士通株式会社が主催するコンソーシアム「Financial Innovation For Japan」等への加盟により、ベンチャー企業や先進的な技術を持つ企業との幅広い交流機会を設け、InsTech に関する最新動向の共有、最新要素技術の適用可能性評価、新サービス実現に向けた実証実験を行なっていきます。

今後も幅広く、InsTech 推進に向けたパートナーを探求し、新たなビジネスモデルの構築により、社会保障制度の補完としての役割を更に強化していきます。

以上